



手芸を趣味にした市民のクラブです



おしゃべりしながらそれぞれが好きなものを作っています

# みんなのた場

サークル仲間<sup>169</sup>

## ちくちくクラブ

口と手動かし縫い物  
一人よりも皆で楽しく

「ちくちくクラブ」は手芸が趣味の市民の集まりです。須江農村定住センターで毎週水曜と木曜の午前10時から午後3時まで活動しており、おしゃべりしながらちくちくと針を持つ手を動かしています。

主に参加するのは40代から80代までの男女6人で、須江地区以外が過半数です。代表の加藤千代美さんや布作家の大嶋八寿子さんらが仲間内で一緒に縫い物をしてきた際、「センターを借りてみんなで集まってくれませんか」と話を進め、約2年前にクラブを立ち上げました。

作る物は古い着物を活用した布絵や布バッグ、つるし飾りなど人それぞれ。ゲームに登場するようなドラゴンをはじめ、自作のキャラクターのぬいぐるみを得意にしている人もいます。作品は自宅に飾るほか、知人にあげたり見せたりして自慢したり。お呼びがかかれば催しや展示に出品もします。興味のあるものや四季折々の飾りを飾ったりすることで、生活に潤いが出るそうです。

手芸の種類は異なりますが、皆「作りながらお話しすると楽しくなると」と口をそろえます。テーブルの上には裁縫道具だけでなく茶菓子も並び、世間話で笑顔の花が咲いています。弁当持参のお昼時間も楽しそうでした。

「家で一人だと話さないで、ここだとほげ防止になる」と「口と手を同時に動かすのが頭に一番いいですよ」との声も。作品で悩めば助言して手伝い、ほかの人の作品を見て創作意欲も増します。

決まり事はなく、いつも参加する6人以外でも好きな時間にきて縫い物ができます。加藤さんは「材料も提供できるので、作りたい人はぜひどうぞ」と呼びかけていました。

## きらり★まきっこ<sup>26</sup>

### 陸上と勉強の「両道」行く

たけやま 武山ほのかさん (河南東中学校3年)

小学4年生の時にスポーツ少年団に入って以来、陸上競技に打ち込んできました。昨年の東北中総体では、200mで6位に入賞しました。

走ることが好きで、陸上競技ではスタートから全力で飛び出し、逃げ切ることで結果を出してきました。昨年9月の市陸上競技選手権大会では、走り幅跳びで大会新記録を出すなどして最優秀選手賞に選ばれました。タイムが出ないときもありますが、幼い頃に習った空手で培ったメンタルの強さが、やる気を保てる秘けつだと思っています。

学校では総合運動部の副部長を務めています。良い記録を出すだけでなく、学校の掃除や勉強もまじめに取り組み、「文武両道」でありたいです。最上級生の自覚を持ち、後輩から「すごい」と言われる先輩を目指します。



市報いしのまき 第333号 令和8年5月1日発行  
発行 石巻市総務部秘書広報課 ☎0225-95-1111 FAX23-4340  
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

編集/制作 (株)石巻日日新聞社  
古紙/パルプ配合の再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙としてリサイクルできます。「ごつがみ類」として分別してください。

住民基本台帳による石巻市の人口と世帯数(前年比)		
令和8年3月末現在	人口	129,257人 (▲2,220)
	世帯数	62,431世帯 (▲15)